

伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様

報告者

議員名

百上真奈

研修会名

第74回市町村議会議員研修会 zoom開催

日 時

3月27日 13時30分～ 17時

場 所

zoom

【研修の成果】

研修と受講した報告は別紙

費 用

旅費:

0 円

研修参加費:

14000 円

合計:

14000 円

第 74 回 市町村議会議員研修会 zoom 開催 水道料金の値上げを考える

2025 年 3 月 27 日(木)午後 1 時 30 分～5 時

講義 「水道料金値上げの根拠と論点」

講師 太田 正（作新学院大学名誉教授）

全国的に人口減少や節水型機器の普及により水需要は減少傾向にある。そのため、料金収入も減少することが予測される。また、老朽化した水道管の更新や耐震化、浄水施設の更新などのコストがかかり、水道事業経営が厳しくなることなどを理由に、今後、全国の水道事業者が水道料金の値上げを行うと言われている。

また、個人的に一般会計と違って公営企業会計は理解し難いゆえに、財務状況のチェックもままならない現状がある。

研修では、水道事業・地方公営企業に関する基礎知識や水道料金の仕組みと算定プロセス、料金水準の算定など、資料を使って詳細に講義をされた。水道会計を理解し、本当に値上げが必要になるのか、必要性の判断ができるようになりたいとの思いで参加した議員研修だったが、やはり難しかった。

事例報告「県水値上げに連動する市町村水道の動向をめぐって」

報告者 林 敏夫氏（埼玉自治体問題研究所）

講師の話は、憲法 25 条の規定により国には公衆衛生の向上と生活環境の改善を行う責務があり、公衆衛生が上下水道事業であること。水道法 1 条では、清浄にして豊富低廉な水の供給を図ることが規定されている。権利として水を位置付けた場合、水道の役割を担えるのは「公共」であるという話から事例報告が始まった。国は、自らの責務を放り出して水道事業の民営化や民間委託を推進しているが、水道の維持管理を営利企業にまかせることの危険性を強調された。

埼玉県では、63 市町村中 58 市町が県水受水体制にあり、水道の広域化を推進している。広域化は施設統合、管理・運営統一により強靱化課題の推進を求めている。そのねらいは大手水道ビジネスに、受託の受け皿と利潤を保障することにある。

同時に、水道事業職員の削減も進めて民間委託につなげる動きもある。職員の確保、技術継承に向けた課題は費用の抑制に逆行するが、合意形成の課題であるとともに「職員不足を克服して直営堅持の合意形成ができるかは、水道と水道料金を考える重要なポイントである」とのことである。直営再生、職員拡充、技術継承・向上は水道の未来に欠かせない課題だという話に大いに共感できた。

水道料金の値上げを考える

全国の自治体で、水道料金の大幅な値上げが相次いでいます。「清浄・豊富・低廉」(水道法第1条)は水道の使命のはずですが、大幅な値上げはやむを得ないのでしょうか!? 水道は、たとえ災害時においても絶やすことが許されない「命の水」です。どこにおいても誰であっても、大幅な値上げにより水道料金が払えず、家庭への給水が止められるという事態があってはなりません。

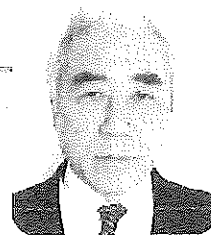
この研修会では、水道と水道料金決定のしくみをおさえた上で、提案されている大幅な値上げの背景と要因を検証し、何が問題なのか、どうすればよいのかを読み解きます。

■ 2025年3月27日(木) 午後(13時30分～17時)

講義

水道料金値上げの根拠と論点

講師 太田 正 (作新学院大学名誉教授)



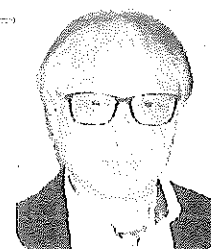
そもそも水道とはなにか(水道システム、市町村公営原則、独立採算制と公費負担など運営や会計のしくみ、水道料金の2つの構成要素と決定プロセスなど)、なぜいま全国的に値上げラッシュが起きているのか、押し寄せる水道料金値上げを考える際の背景と要因および論点はどこにあるか、水道経営は独立採算制なので赤字なら値上げはやむを得ないのか、水道の会計を分析する勘所はどこにあるかなど、水道料金を考えるポイントを紹介します。

参考テキスト：太田正「押し寄せる水道料金値上げの波をどう考えるか」
(「住民と自治」2025年2月号所収) 税込特価 680円

事例報告

県水値上げに連動する 市町村水道の動向をめぐって

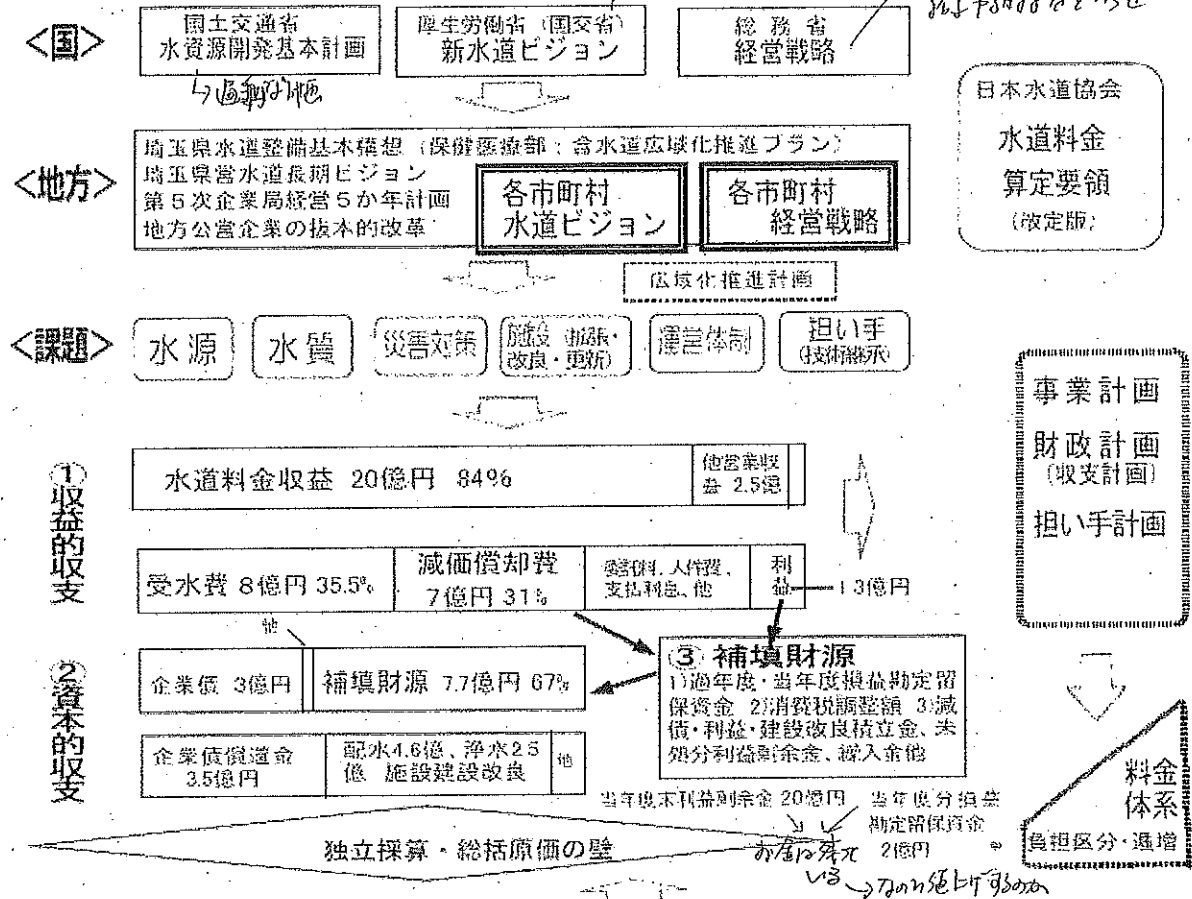
報告者 林 敏夫 (埼玉自治体問題研究所)



埼玉県では用水供給事業が21%値上げされます。それ自体に様々な検証課題がありますが、市町村では新水道ビジョン、経営戦略もからみ、値上げに余剰なしかの動きです。では、各水道事業・会計の何を検証しておくべきでしょうか。

市町村議会議員研修会 水道と水道料金の値上げを考える

1. 水道・水道料金をめぐる課題を俯瞰すると



憲法第25条・水道法第1条、地方自治・住民自治、要求・政策提案

※ 収益的・資本的収支の数字は昨年値上げを行った市の数字を引用

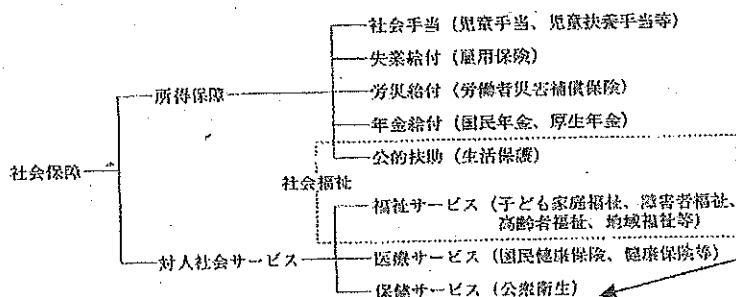
☞ 水道財政の①、②、③の3つの財布関係が知られていない……特に損益勘定留保金の明示が課題

2. 水道を考えるために何から伝えているか

(1) あらためて公衆衛生の課題としての水道

- ① 憲法 25 条……国は～社会福祉、社会保障、公衆衛生～ → 議論から薄れていないか
- ② 水道法 1 条……清浄にして豊富低廉な水の供給を図り～公衆衛生の向上と生活環境の

改善とに寄与～を目的 → 各自治体水道ビジョンで、コピペのように 安全・強靱・持続に変換・引用(低廉は抹消) されていないか。



上・下水道事業

領 収 書 等 添 付 用 紙	議 員 名	百上真奈
調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費 人件費・事務所費		
(該当項目に○をつけてください。)		

2025年2月20日

インボイス登録番号：T8-0111-0111-9038

領 収 証

百上真奈 様

¥14,000-(税込)

うち消費税額 1273 円

消費税 10%対象

但し、第74回市町村議会議員研修会 Zoom 開催 (2025/3/27) 参加費として
上記正に領収いたしました。
受講者ご氏名：百上真奈 様 受付番号(19)

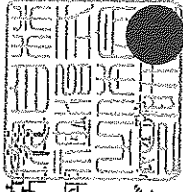
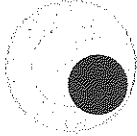
株式会社自治体研究

代表取締役 長平

〒162-8512

東京都新宿区矢来町 123 矢来ビル

電話番号 03-3235-5941



伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様

報告者

議員名 百上真奈

研修会名

第20回 全国 地方議員 交流研修会 in 沖縄

日 時

1 月 29 日 13 時 ~ 17 時 30 分
1 月 30 日 9 時 30 分 ~ 16 時
1 月 31 日 9 時 ~ 15 時

場 所

琉球新報ビル、沖縄県市町村自治会館、ハレト市民劇場、辺野古

【研修の成果】

別紙に記載

費 用

旅費：10930 円 研修参加費：19000 円 合計：29930 円

第20回 全国地方議員交流研修会 in 沖縄 参加報告

第1日目の記念講演は「沖縄、日本を再び戦場にさせてはならない」と題し、玉城デニー沖縄県知事が、琉球王国時代の歴史から太平洋戦争で唯一の地上戦が繰り広げられた沖縄戦や戦後の占領下時代の話、現在の基地問題など画像とともにわかりやすく丁寧な講演でした。二度と戦争を起こしてはならないという強い思いで沖縄が進めている地域外交は当に平和外交そのものです。

また、ご自分が監督して制作した5本の映画の予告編を流しながら、沖縄の基地問題を真正面から捉え本土の人たちにも沖縄の現状を伝え「今、日本全体がアメリカの防波堤と化している」と告発した三上智恵さんのお話も圧巻でした。

その他、「アメリカと一緒にあって中国やアジアの貿易相手国にミサイルを向けて良いのか」と問題提起をされた羽場久美子さん。「女性、子どもたちの人権が守られ平和な沖縄の実現のためこれからも闘っていく」と話された沖縄県女性団体協議会会長の伊良波純子さん。1日目の講演は、沖縄の基地問題やの辺野古基地建設問題について深く学ぶものとなりました。

2日目 第1分科会 日中不再戦 自治体・議員の役割

宮古市議会議員から、宮古島へのミサイル配備は島民を守るためと言われてきたが、今は国際社会の責務を果たすためと言われ、軍人扱いの自衛隊員と住民が一緒にいることはできないため島民避難計画の策定が検討されているという報告がありました。

同じ地方議員でありながら、市政や市議会でミサイル攻撃などから住民を守ることが議論されていることに衝撃を受けるとともに、住民の命と暮らしを守るという自治体や議員の役割が、国策によって脅かされている沖縄、南西諸島の現状を知り、他人事として見ているだけではいけないと痛感しました。国と対等であると位置付けられている地方自治体および地方自治が歪められていることに対し、同じ地方議員としてしっかりと問題意識を持つことが重要だと思いました。

厚木基地の現状、訪中報告、地方自治法の改正による国と地方自治体との関係についての報告などもありました。「中国は日本の最大の貿易国であり、中国と対立や戦争ではなく平和と共存が必要」という言葉が印象に残りました。

3日目 辺野古基地建設現場を視察

辺野古新基地建設工事が進む現場を、参加した多くの議員と共に訪れ、県会議員や反対運動に取り組む地元の方々の話を聞き、その後、建設工事の大浦湾に近い海岸に移動して建設工事に携わる多くの船を視察しました。

訪問した2日前の29日に、沖縄防衛局が大浦湾の軟弱地盤改良工事のくい打ち作業を開始しましたが、埋め立て工事完了までに8年。その後の基地施設建設などに4年かかるという説明に驚き

ました。その間も危険な普天間基地は使われ続けるわけであり、総工費も1兆円を大きく上回る試算もあるとのこと。参加した議員のみなさんと同様に、辺野古基地建設の必要性や本当に完成するのか疑問が膨らむ視察となりました。

本研修会の名において、「日米地位協定の抜本的な見直しを求める決議」が採択され、このことについて広く発信し地方議会で決議していくことが重要であるということも認識できた研修となりました。

第1分科会 日中不再戦 自治体・議員の役割

【分科会目的】

日中の歴史的教訓を振り返り、対米従属の下で対中国を念頭に置いた米日軍事一体化が、沖縄・南西諸島から全国へと急拡大する情勢への危機感を共有する。そのうえで、再び中国、東アジアとの戦争を許さず、平和を次世代につなぐため自治体・議員の役割について、具体的な取り組みから議論する。(案)

【分会の運営】全体時間(180分)

座長 [金沢市議会議員 森 一敏]

司会 [筑紫野市議会議員 春口あかね]

議事録 [那覇市議会議員 糸数貴子、仲宗根由美]

【分科会の進行】

1. 開会挨拶(分科会の趣旨と目的、日中関係の重要性など) 9:00
座長 [金沢市議会議員 森 一敏] (5分) 30
2. 分科会への期待 9:05
[羽場久美子 先生] (10分) 35
3. 地方別報告(15分ずつ) 9:15 45
 - (1) 南西諸島からの現地報告 [宮古島市議会議員 下地あかね PowerPoint]
 - (2) 本土からの報告
厚木基地を中心に横浜ノースドック、横須賀基地などの基地強化の状況について [大和市議会議員 大波修二]
 - (3) 日中不再戦の活動報告 [綾瀬市議会議員 越川好昭]
4. 訪中報告と訪中団呼びかけ PowerPoint (15分) 10:00 30
[筑紫野市議会議員 春口あかね]
5. 国と地方の関係における問題 (15分) 10:15 45
[金沢市議会議員 森 一敏]
 - ・地方自治法改正「国の補充的指示権」
 - ・日米地位協定の抜本改定を求める地方からの声

休憩10～15分

10:30
11:00

6. 意見交換（挙手制の自由討論）1人3分 ⁶⁰ (90分) 11 : 15
~~10 : 45~~

7. 意見交換の内容の総括、今後の活動方針（10分） 12 : 15

〔羽場久美子 先生〕

〔筑紫野市議会議員 上村和男〕

8. 討議のまとめと閉会挨拶（5分） 12 : 25

座長〔金沢市議会議員 森 一敏〕

閉会 12 : 30

昼食休憩（分科会報告準備）

全体集会への移動

全体集会開会 14 : 00から

全国地方議員交流研修会 in 沖縄

「延期のお知らせ」 ※ 予想される総選挙との関係で前回ご案内の開催日を10月29日(火)から2025年1月29日(水)へと3カ月延期致しました。

1日目

2025年

1月29日(水)

2日目

30日(木)

全体会 13:00-17:30

12:00開場 (12:30受付)

琉球新報ホール

那覇市泉崎1丁目10番3号 Tel.098-865-5256

名刺交換会 18:00-19:30

※ 希望者のみ 参加費別途6,000円

沖縄県青年会館

沖縄県那覇市久米2-15-23 Tel.098-864-1780

分科会 9:30-13:00

9:00開場

全体会 14:00-16:00

沖縄県市町村自治会館

沖縄県那覇市旭町116-37 Tel.098-862-8181

3日目

31日(金)

9:00出発

15:00頃終了予定

オプション

沖縄現地フィールドワーク

※ 希望者のみ 参加費別途

Aコース: 沖縄戦をたどる

Bコース: 米軍基地と辺野古

現地視察

1日目: 1月29日(水)

●開会挨拶

●来賓・各界からのご挨拶

●記念講演

「沖縄、日本を再び戦場にさせてはならない」

玉城 デニー 沖縄県知事

●問題提起

「欧米G7からグローバルサウスの時代へ

われわれはどうするか？」

羽場 久美子 さん (青山学院大学名誉教授)

「食料自給向上のための提言」(オンライン)

鈴木 宣弘 さん (東京大学院教授)

●特別報告

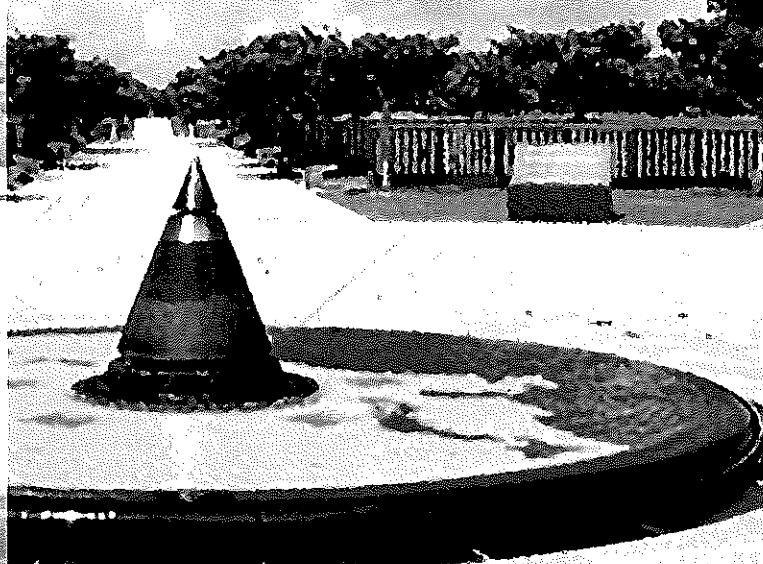
○「米軍基地・自衛隊基地に翻弄される沖縄」

三上 智恵さん (映画監督)

○日中不再戦 九州自治体議員の会

○食料自給の確立を求める自治体議員連盟 他

●基調提案 実行委員会



沖縄県平和祈念公園「平和の礎」/「さざなみの池(平和の火)」
沖縄県糸満市摩文仁444

中央の噴水から「さざなみの池」に流れ落ちる水は波紋をつくり、刻銘板まで放射状に広がっていくようデザインされています。その波は「平和の波」となって世界中に広がっていくようにとの願いが込められています。「平和の火」は、沖縄戦最初の米軍上陸地である阿嘉島で採取した火と、被爆地：広島・長崎からいただいた火を合わせたもので、慰霊の日などに灯されます。

参加費

都道府県市区議会議員 15,000円 / 町村議会議員 5,000円 / 一般 1,000円 / 大学生・高校生以下 無料

別途希望者のみ ※名刺交換会費 + 6,000円 ※2日目の弁当代(お茶付き) + 1,000円

※フィールドワーク参加費 実費 (おおよそ3,000~4,000円)

申込方法

●第20回全国地方議員交流研修会 下記webサイトの専用申込みフォームからお申込みください。

<https://req.qubo.jp/kokuminrengo/form/E12hXg9Q> 右のQRコードからも申し込みます。

●FAXでのお申込みは、FAX申込み用紙をダウンロード、印刷してお申込みください。

●申込み用紙の郵送をご希望の方は、下記事務局までご連絡ください。

第1次締切 12月20日



問合せ

全国実行委員会事務局 自主・平和・民主のための広範な国民連合全国事務局

〒212-0011 川崎市幸区幸町4-8 青柳ビル2F

TEL. 090-8588-8307 (担当: 迫田) E-mail: giin@kokuminrengo.net FAX. 044-541-2066

主催: 第20回 全国地方議員交流研修会実行委員会

共同代表: 北口 雄幸 (北海道議会議員) 藤本 真利子 (和歌山県議会議員) 山内 宋子 (沖縄県議会議員)



旅 程 明 細 書

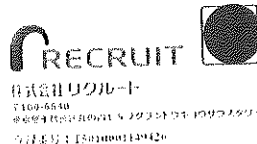
No.

旅行者	所属	伊賀市議会			氏名	百上 真奈						
用務名(目的・場所)		第20回全国地方議員交流研修会in沖縄										
		琉球新報ホール(那覇市泉崎1丁目10番3号)、沖縄県市町村自治会館(那覇市旭町116-37)、パレット市民劇場、沖縄現地フィールドワーク(辺野古)										
用務従事期間 (時間)		従事 月日	1 月 29 日		従事 時間	13:00 ~ 17:30						
			1 月 30 日			9:30 ~ 16:00						
			1 月 31 日			9:00 ~ 15:00						
出張 月日	出発地 (出発箇所)	交通 用具	到着地 (到着箇所)	鉄道賃・船賃・航空賃・車賃			小 計	日当	宿泊料	夕食代	朝食代	
				路程	運 賃	急行料金						
1月29日	美旗	近鉄	鶴橋	km 72.0	円 1,290	円	2,640	円 4,500	円 39,500	円 1,700	円	
	鶴橋	JR	関西空港	49.0	1,080							
	関西空港	航空機	那覇空港	1189.0	宿泊料含							
	那覇空港	ゆいレール	旭橋	5.4	270							
1月30日								円 4,500		円 1,700	円 900	
1月31日	那覇空港	航空機	関西空港	1189.0	宿泊料含		3,090	円 4,500			円 900	
	関西空港	バス	上本町	53.5	1,800							
	上本町	近鉄	美旗	73.1	1,290							
計							円 5,730	円	円	円 3,400	円 1,800	
							合計	円 10,930				

- ・日当は請求しない。
- ・名張市三原議員と同行、近鉄美旗駅集合出発。最寄り駅の西大手駅～美旗駅は請求しない。
- ・1月29日、関西空港8:20発～那覇空港10:45着の航空機を利用。JR伊賀上野駅始発5:27～関西空港8:10着となるため、搭乗手続き等の時間を考慮し、到着時間の早い近鉄(近鉄美旗駅5:07発～関西空港7:29着)を利用。
- ・航空賃・宿泊料(夕食・朝食なし) 計39,500円(1月29日～31日)は請求しない。
- ・1月31日、飛行機の到着が遅れたため、関西空港発～上本町の空港バスを利用。

領収書等添付用紙	議員名	百上真奈
調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費 人件費・事務所費 (該当項目に○をつけてください。)		

領収書		再発行(2)
発行 No. JJP0001239497		
発日: 2025年01月11日		
下記、正に領収いたしました		
宛名	百上まな 様	
金額	10%対象 ¥39,500 - 内消費税 ¥3,500 (11% 減価率代・前払代等として(消費税の控除))	
予約番号	JJP3AJ0EP5	
旅行期間	2025年01月29日 ~ 2025年01月31日	
決済日	2024年11月30日	



ること。
忍できるように

りまま添付すること。
ること。

航空賃、宿泊料(朝食、夕食等)
39,500円は
政務活動費から
支出しない。

百上真奈 領収書(Receipt)

発行日 25年-1月31日(Y/M/D)

乗車券代として

金 1800円/JPY

- ◆この領収書の再発行はできません
- ◆この領収書では乗車できません
- ◆No boarding by this receipt.

5176 @

関西空港交通 近鉄バス

1/31 関西空港～上本町

領収書 No. 15655	
ご利用日付: 2025年-1月31日	
自署	百上真奈 様
購入商品: 自線券	
決済区分: 現金	金1,290円
(10%対象 1,113円) 消費税	117円
(内訳) 乗車券類	1,290円
(10%対象 1,113円) 消費税	117円
手数料	0円
(10%対象 0円) 消費税	0円
SF	0円
デビット	0円
: 上記金額確かに領収いたしました : ご利用ありがとうございます	
印紙税申告納 付につき天王寺 税務署承認済	
近畿日本鉄道株式会社 TS120001183629 2025-1/31 21:55 大阪上本町駅 9113号機発行	

1/31 上本町～紫雲

領収書等添付用紙	議員名	百上真奈
調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費 人件費・事務所費		
(該当項目に○をつけてください)		

領 収 証

2025 年 1 月 29 日

伊賀市議会 /
百上 真奈 様

一金 ￥15,000 円

第 20 回全国地方議員交流研修会 (2025 年 1 月 29 日～30 日)
参加費
として
上記まさに領収致しました。

全国地方議員交流研修会実行委員会
事務局 会計担

〒212-0011 川崎市幸区幸町 4 の 8 青柳ビル 2 F
TEL 090(8588)8307 FAX 044(541)2066



領 収 証

2025 年 1 月 29 日

伊賀市議会 /
百上 真奈 様

一金 ￥4,000 円

第 20 回全国地方議員交流研修会 第 3 日 (2025 年 1 月 31 日)
沖縄現地フィールドワーク参加費
として
上記まさに領収しました。

全国地方議員交流研修会実行委員会
事務局 会計担当

〒212-0011 川崎市幸区幸町 4 の 8 青柳ビル 2 F
TEL 090(8588)8307 FAX 044(541)2066

